

今日のトピック 2024年2月の注目イベント
株価が高値を更新する日米の企業業績に注目

- 日米の株価が高値を更新するなか、企業の10-12月期の決算発表が本格化しています。決算が市場予想を上回るかがポイントです。LSEG（ロンドン証券取引所グループ）によれば、米S&P500種指数採用企業の10-12月期業績は増益基調が続く見通しとなっています。好調なITセクターに加え、他の業種に業績拡大が広がるかが注目されます。また、QUICKによれば、日本の東証プライム上場企業は大幅な増益が見込まれています。円安や値上げによる増収効果や中国経済減速の影響などが注目されます。
- 中国では、23年の実質GDP成長率が前年比+5.2%と政府目標の「5%前後」は達成したものの、名目GDP成長率は同+4.6%にとどまり、名目が実質を下回りました。GDPの名実逆転は、中国のデフレ圧力の強さを示しています。このため1月の消費者物価指数（CPI）や生産者物価指数（PPI）が注目されます。また、春節（旧暦の正月、24年は2月10日）の大型連休での消費動向が注目されます。
- インドでは、24/25年度の国家予算案が発表されます。モディ政権は今春の総選挙を控えて、景気支援型の予算案を編成する可能性があり、高成長を続けるインド経済の先行きをみるうえで注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年2月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:1月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 2日:1月雇用統計 5日:1月ISM非製造業景況指数 7日:12月貿易収支	1日:イングランド銀行金融政策委員会 、ユーロ圏1月CPI 6日:ユーロ圏12月小売売上高	1日:インド24/25年度国家予算案 、中国財新1月製造業PMI 5日:中国財新1月非製造業PMI 6日:豪州金融政策決定会合 8日:中国1月PPI、1月CPI、インド金融政策決定会合、メキシコ金融政策決定会合	6日:12月家計調査、12月毎月勤労統計 7日:12月景気動向指数 8日:12月国際収支、1月景気ウォッチャー調査
13日:1月消費者物価指数(CPI) 15日:1月小売売上高、1月鉱工業生産 16日:1月生産者物価指数(PPI)、2月ミシガン大学消費者センチメント指数	14日:ユーロ圏12月鉱工業生産、イギリス1月CPI 15日:ユーロ圏12月貿易収支、イギリス10-12月期GDP	10-17日:中国春節大型連休 14日:インドネシア大統領選挙	13日:1月企業物価指数 15日:10-12月期GDP 19日:12月機械受注
21日:FOMC議事要旨 22日:2月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 26日:1月新築住宅販売 27日:12月ケースラー住宅価格指数 29日:1月個人消費支出(PCE)、1月PCEデフレーター 、1月個人所得	22日:ユーロ圏2月製造業・非製造業PMI 23日:ドイツ2月IFO企業景況感指数 28日:ユーロ圏2月消費者信頼感	22日:トルコ金融政策決定会合 29日:中国2月製造業・非製造業PMI、インド10-12月期GDP	26日:1月企業向けサービス価格指数 27日:1月全国CPI 29日:1月小売業販売額、1月鉱工業生産、1月住宅着工件数

(注) 2024年1月24日現在。日付は現地時間。(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之 (いしい やすゆき)

ここもチェック! 2023年12月27日 2024年 1月の注目イベント
2023年11月28日 2023年12月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。